

市長タウンミーティング議事録

報告日：令和4年(2022年)8月2日

- 日時 令和4年7月30日(土) 18:30~20:00
- 場所 船場生涯学習センター 6階多目的室
- 参加者数 会場参加：20名 オンライン参加：5名
- 対応者 上島市長、地域創造部 小山部長、健康福祉部 北村部長、みどりまちづくり部 松政副部長、子ども未来創造局 濱口担当副部長、子ども未来創造局 今中担当副部長、市立病院 小林新市立病院 整備統括監
- 事務局 市民サービス政策室 8名

【質疑応答概要】

● 千里中央の30階建てマンションの建設について

- ・ 千里中央の10階建てのマンションに住んでいる。自身が住むマンションの近くに、30階建て100mのマンションが建設されると聞いた。31階建てのマンションが建ってしまうと、日当たりが大変悪くなるなど生活環境への影響が大きい。元々住んでいた住民をないがしろにされていないか。

(市からの回答)

- ・ 当該地域は商業地域であり「日影規制(建築基準法に定めるもので、建築物からできる影が、周辺の土地に一定時間かからないようにすることにより、日照環境を確保するための制限。)」はない。また、高度地区の特例許可を適用すれば本来マンションの高さ規制はないエリアであるが、市では高さ100mを上限とする地区計画を定めて対応をしている。その規制を守っているのであれば、マンションを建設することは可能である。
- ・ 日当たりについては、事業者に対して、住民へきちんと説明するように伝えていく。
- ・ 最高限度内で建設するのであれば、法、条例に沿っているため許可をせざるを得ない。だが、住民に対して、事業者から丁寧に説明していくように指導はしていく。

● 北急延伸による環境の変化について

- ・ 北急延伸に伴うまちづくりによって、船場広場にデッキが繋がり、便利になるかと思う。しかし、人の増加に伴って、広場周辺の放置自転車や放置ごみが増加するのではないかと心配している。地元の住民が安

心して住めるようにしてほしい。

(市からの回答)

- ・ 自転車の放置については、周辺地域を自転車禁止地域として設定し、迷惑自転車への対応を行っていく。放置ゴミについては、基本的には利用者のマナーに任せるつもりだが、あまりに放置ごみがひどくなるようであれば、適正に対応していく。

● 船場地区の新設校について

- ・ 現在、船場地区周辺の小中学生で、30～40分かけて登校している子どもたちがいる。今後、学校が建設予定とあるが、その優先順位を上げ、早めの建設を望んでいる。
- ・ 学校の新設は、子供たちの通学のためになるのはもちろんのこと、災害拠点としても有用となるはず。現在の避難所は萱野小学校であり、距離が遠い。また、避難所の拡充について、大阪大学も避難所として活用してはどうか。

(市からの回答)

- ・ 新設校の建設時期については、新市立病院の整備方針が決定してから検討していくことになる。現在、新市立病院の整備方針がまとまりつつあるため、早めに動いていけると思っている。船場の新設校を大阪で一番の学校にしていきたいと思っているので、地域の意見を取り入れ、財政シミュレーションを行いながら、早めに検討していく。

● 特別業務地区について

- ・ 特別業務地区に住宅が建設されたのが、2003年から2005年の間である。その後、住民からの反対があったが、パチンコ屋が建設される、ということがあった。

(市からの回答)

- ・ 元々、船場地域は企業が集まる地域だったが、そこにマンションの建設が始まった。特別業務地区とは、住宅を一切建ててはいけない、というものではない。3階以上に住戸を設けるのであれば、住宅を建てることは可能である。
- ・ また、パチンコ店の建設については、以前に問題となったことがあり、その際に特別業務地区条例の改正を行ったため、現在はパチンコ店は建設できなくなっている。

● 船場地区の人口増加について

- ・ COM3 号館が投票所となったが、現在、有権者は 1000 人程度。市内の他の投票所では有権者が数千人が普通であるため、市としては船場地区の人口増加を見込んでいるのだろう、と考えられる。今後、どれほどの人口増加を見込んでいるのか、また、どれぐらいの住宅が建設されると考えているのか。

(市からの回答)

- ・ 人口増加について、計画性・将来性を持って、取り組んでいきたいと考えている。ガーデンシティ構想も含めて、検討を進めていきたいと思っている。また、住民との意見交換も行いながら、完成度の高い町を作りたいと思っている。